

田村 ゆうすけ 37歳

ともに生きる



神奈川県議会議員 瀬谷区選出

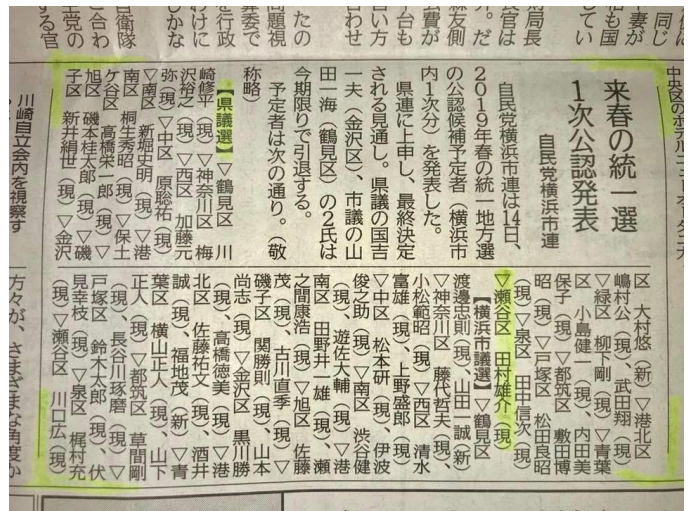
田村ゆうすけ

検索



ごあいさつ

今年度は、任期(4年間)の最終年度となります。過去3年間には教育委員会・障がい福祉や社会福祉を扱う厚生委員会・警察や防災を所管する委員会を務めさせて頂きました。今年度5月末には地域活性や商店街活性、働き方改革などを所管する「産業労働常任委員会」「社会問題・安全安心推進特別委員会」に配属が決まりました。2015年の統一地方選挙前から、お訴えをさせて頂いていた、防災対策・社会福祉・障がい福祉・子育て世代支援を今年度も新しい委員会のもと強く推進をしていきます。瀬谷区は今後、上瀬谷通信帯跡地利用や新しい交通インフラ整備・相鉄線の延伸・区内都市計画道路・瀬谷駅南口の再開発等々、横浜市18区ある中でも一番、可能性を秘めている区であります。5年・10年・20年先の明るい瀬谷区を国・県・市の議員で連携を取りながら区民の皆様の声を形にしていきます。又、4月14日には来年の統一地方選挙に向け自民党横浜市部連合会より自民党公認を頂きました。



4月15日神奈川新聞 朝刊

今年度も引き続き共生社会の実現に向けて



この時報紙の表題にもある「ともに生きる」はダウン症の書家・金澤翔子さんに書いてもらったものです。翔子さんにもご協力を頂きながら、健常者と障がいを持った方々が共に暮らせる社会「共生社会」の実現に向け今年度も県議会で積極的に声を上げていきたいと思っています。

これまで、聴覚障がい者の方々に対応した街づくりや、新生児聴覚検査の補助費導入、補聴器購入助成制度、医療的ケアの必要な子供達が親同伴でなくても学校に通える環境の整備、障がい者用トイレの整備・設置基準の見直しと、障がい者用トイレの設置箇所マップの作成と公表、各役所等のバリアフリー化等々、議会で声を上げていくことで大きく変わってきた事が、この様に多くあります。今後も障がい者団体の皆様から、ご意見を頂き積極的に共生社会の実現を目指します。

東京パラリンピック開催の決定を機に神奈川県でも「ヘルプマーク」を導入致しました。



これは、目に見えない障がい(内部障がい等)をお持ちの方が、周りの方に気づいて頂けよう意思表示するものです。まだまだ、認知度は低いですが、このマークを携帯している方を見かけた際には、ご配慮をいただけますよう、よろしくお願い致します。



一人ひとりの助け合いこそが共生社会の実現に大きな一歩なると信じています。

瀬谷区 境川浸水被害対策 / 住民説明会開催



瀬谷区には神奈川県と東京都が管理する2級河川・境川があります。

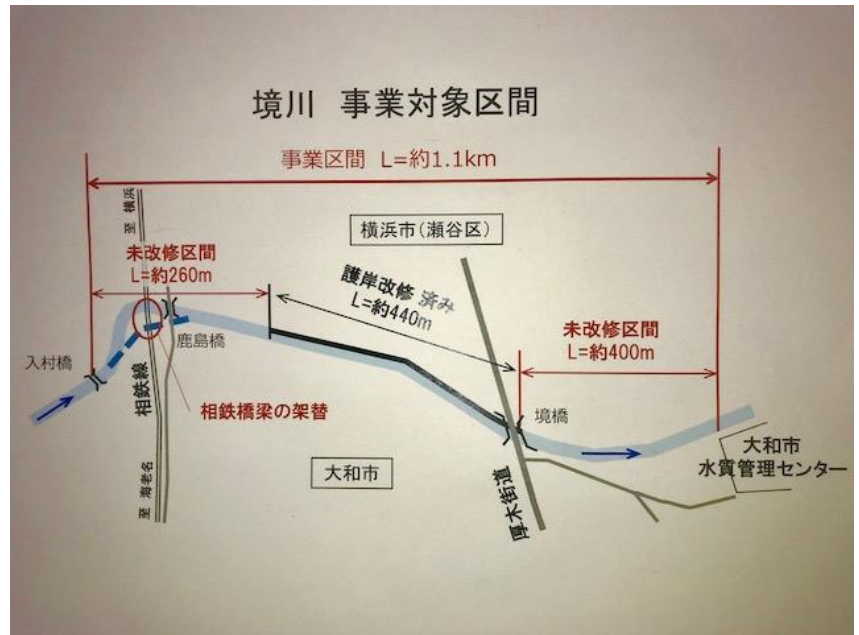
区内には現在、雨量1時間当たり40mmで氾濫してしまう箇所があることから昨年の本会議一般質問で、境川の浸水被害対策に



ついて質疑を行いました。県土整備局長からは、「瀬谷区域では、川幅が狭い相鉄線の橋梁付近の約1.1km区間を優先して護岸整備に取り組んでいく」という答弁を頂きました。

又、瀬谷区内境川の相鉄高架橋下S字カーブを直線化する工事も合わせて早急に対応していく旨の答弁を引き出すことができました。これによって近隣住民の皆様への一定の安心・安全を確保することができました。

さらに工事で影響の出る橋戸北地自治会・相鉄団地自治会の皆様には4月20日に住民説明会を開催し県の担当課長に説明を頂きました。引き続き区民の皆様のご意見をしっかりと形にし、防災対策に力を入れていきたいと思っております。



4月22日県政報告会を開催させて頂きました



第3回「県政報告会」を開催させて頂きました。手話通訳者配置のもと、多くの瀬谷区民の皆様にご参加を頂きました。今年度、県の重要施策をはじめ、私自身が瀬谷区選出の県議会議員として、どのようなことに取り組んでいるのかを、お話をさせて頂きました。毎年開催をしていますので、今回お越し頂けなかった区民の皆様、是非とも次回開催時にはお越しただければ幸いです。また、この時報紙にて開催日が決定し次第、ご報告させて頂きます。

神奈川県議会議員 (瀬谷区選出)

田村 ゆうすけ

- ・ 産業労働 常任委員会 委員
- ・ 社会問題・安全安心推進 特別委員会 事務局長

- ・ 瀬谷区阿久和西2丁目在住
- ・ 習い事 手話教室(4年目)
- ・ 4人男兄弟の長男
- ・ 家族は妻、子供3人(男1人・女2人)
- ・ 1980年11月29日宮城県仙台市生まれ
- ・ 衆議院議員 さかい学の秘書を経て
- 2015年4月 神奈川県議選に初当選



<http://tamura-y.com/>

田村ゆうすけ
で検索

